

稲武地区



1 地区の概況

(1) 大半が山林で占められており、

都会では味わえない自然が残る山里

豊田市の北東部、長野県と岐阜県との県境に位置しており、市の中心部まで約 45 km、都市とのアクセスは決して良くないのが実情です。

地区面積は 98.63km²で、約 87%が標高 300～1,200mの山林によって占められており、天竜奥三河国定公園と愛知高原国定公園に指定された地域も含まれるなど、都会では味わえないような豊かな自然と山里の風景が残っています。平地は乏しいものの、名倉川、野入川、黒田川や小田木川などの清流があり、「矢作川の水源地のまち」にもなっています。

しかし、輸入木材の増加や木材価格の低迷によりかつての基幹産業であった林業の低迷が続いています。また、昭和 20 年をピークに人口減少が続いており、過疎化と高齢化が深刻な問題になっています。

(2) 宿場町として栄えた交通要衝の地

古くは、「塩の道(中馬街道)」とよばれる飯田街道(現国道 153号)と美濃街道(現国道 257号)が交差する宿場町として栄えた歴史があり、今でもその名残があります。

2 観光客入り込み客数の動向

(1) 経年変化

どんぐり横丁やどんぐりの湯がオープンした平成 10 年以降に観光入り込み客数は大幅に増加しています。平成 14 年の 78.3 万人をピークに平成 15 年以降は若干減少に転じたものの、平成 17 年の入り込み客数は、平成 7 年の約 2.71 倍にあたる 67.7 万人になっています。

(2) 季節特性

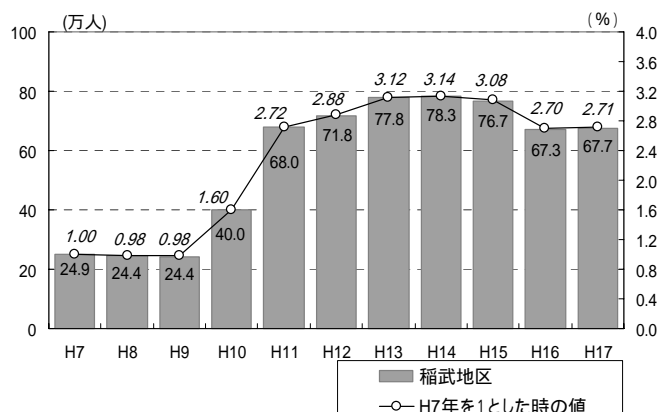
8月の入り込み客数が多く、年間入り込み客数の 15.5% (約 10.5 万人) が集中しています

が、他の地区に比べて比較的季節変動の少ない観光特性を示しています。

(3) 観光地別入り込み客数

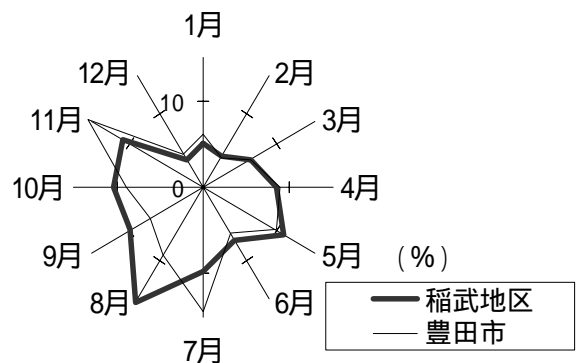
稲武地区で最も集客力の高い観光地・観光資源は、農林水産物直売施設どんぐり横丁が 40.2 万人、稲武温泉どんぐりの湯が 16.7 万人と多くなっています。

図表 6-7-1 観光入り込み客数の経年変化



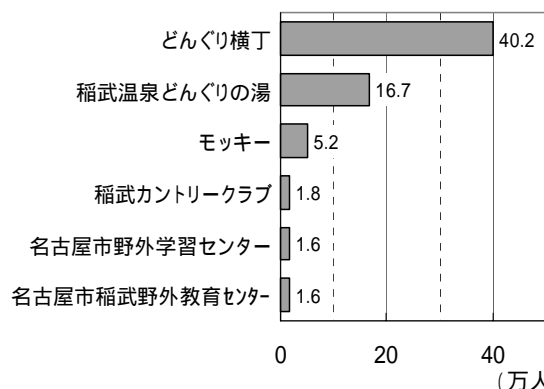
資料: 愛知県観光レクリエーション利用者統計

図表 6-7-2 季節特性(H17)



資料: 愛知県観光レクリエーション利用者統計

図表 6-7-3 主な観光地別入り込み客数(H17)



資料: 愛知県観光レクリエーション利用者統計

3 観光資源の特徴

種	類	資源名
歴史・文化施設	城跡・陣屋跡・ 屋敷跡等	武節城址 山田無文老師の生家
	神社・仏閣等	瑞龍寺(しだれ桜) 大安寺(しだれ桜)
	その他文化資源	龍光院霊場巡り(石碑等) 小田木人形座(人形浄瑠璃) 姫井戸、郷土資料館「ちゅ～ま」 古橋懐古館、押山の太日如来
自然資源	自然資源	夏焼城ヶ山(朝霧) 亀の甲石(玄武岩) 面ノ木峠 (原生林、風力発電所、ダイヤモンドダスト) 押川大滝 子持桂(大野瀬) タカドヤ湿地 花(シャクナゲ、ミズバショウ、レンゲショウマ、オオキ ツネノカミソリ)
	散策ルート	名倉川遊歩道、どんぐりの森、棚田 中馬街道(旧飯田街道) 城ヶ山ハイキングコース
公園・レクリエーション 施設	公園等	稲武温泉「どんぐりの湯」 道の駅「どんぐりの里いなぶ」 農林水産物直売施設「どんぐり横丁」 大井平公園 黒田ダム、岡田養魚場
スポーツ・文化・生涯学 習施設	スポーツ施設等	中日パラグライダースクール、ハウスポニー 池の平ワンダーランド 名古屋市野外学習センター 稲武OGMカントリークラブ(景色がよい)
祭り・イベント		稲武まつり、大井平公園もみじまつり、雛まつり 中馬のあかり(木製ランプシェード)
産業資源	産業観光施設	稲武どんぐり工房、面ノ木風力発電所 木材需要促進センター(モッキー) ほうらいせん吟醸工房 豊田スタジアム芝養生
	特産品(物産)	ブルーベリー、ラベンダー 赤そば(高嶺ルビーの赤い花)



稲武どんぐり工房



稲武どんぐり工房での五平餅づくり体験



稲武温泉「どんぐりの湯」

4 地区別施策体系

稲武地区の課題

1. どんぐりの里を核にした体験プログラムと
まちなか観光の推進

どんぐりの里の集客力を生かし、ハイキングなどの四季折々の自然を生かす取り組みと農林業の体験型観光を推進するとともに、まちなかの活性化のためにも、どんぐりの里からのまちなかを回遊できる仕掛けづくりに取り組むことが必要。

2. 地域資源の磨き上げとPRの強化

豊かな自然環境や都会では珍しい植物、さらには山里の特色を生かした赤蕎麦、ブルーベリーなどについて、地域住民と都市住民が交流しながらボランティアで保全活動や植栽活動等に取り組むとともに、PRの強化により四季を通じた観光につなげていくことが必要。

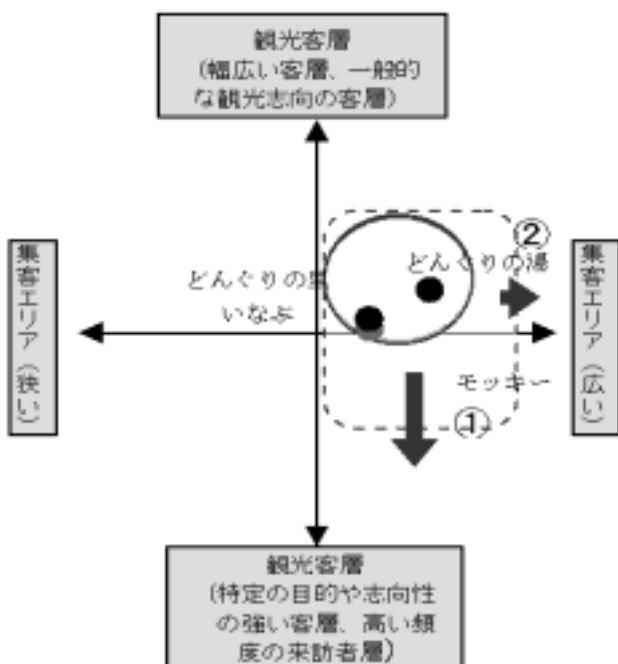
3. 観光客を受け入れるための環境の整備

豊田市街地からの公共交通機関、伊勢神トンネル等の道路改良、城ヶ山などの観光地での公衆トイレ整備など、観光客を受け入れるための環境整備が必要。

将来像

山里の彩・自然が迎え感動を伝えるふるさと『いなぶ』

ポジショニングと将来の方向性



どんぐり工房を拠点とする山里体験プログラムの充実、グリーンツーリズムの展開、地域食材にこだわった特産品の開発などにより、リピート客を拡大するとともに、豊かな自然の中でリフレッシュや山里体験志向の強い層の誘客を拡大する。

グリーンツーリズム(民泊)の推進や他地区の宿泊施設との広域連携、広域的な観光PR等を進め、滞在型の交流層の誘客を拡大する。

観光交流推進目標

1. 豊かな自然でリフレッシュする いやしの里

ブナの原生林、山あいの清流、谷沿いに営まれる田や畑など…。都会にはない自然と景観の中でストレスを解消してくれる「いやしの里」を目指します。

2. 山里体験から生まれる ふれあいの里

地域に根ざした自然・農林業・食体験など、地域の人から直接伝えるほんものの体験を通して、互いの心が高まる「ふれあいの里」を目指します。

3. 清流が育む米づくりの里

矢作川の源から流れ出す清流と澄んだ空気や山間高冷地の気象条件が夏場の日温格差を生み出し、作物のうまみが増します。積み重ねられた品種改良により作り出されたおいしい米を生かした「米づくりの里」を目指します。

観光交流振興の方針

1. どんぐりの里いなぶを拠点とした観光推進
2. 地域に根ざしたほんものの体験プログラムの推進
3. いなぶへのこだわり、地産地消へのこだわりの推進
4. 農地・山林・空き家を活用した山里暮らしへの誘い
5. 地域の連携による交流人口の拡大
6. 住んでよいまち、訪れたいまちづくりの推進
7. 情報受発信の円滑化
8. 観光交流を支えるインフラ整備

重点プロジェクト

1. 歩いて楽しい
まちなか回遊プロジェクト

2. 四季を通じたほんものの山里体験
プログラムの開発プロジェクト

3. 地産地消の推進に向けた特産品の
開発・販売プロジェクト

5 観光交流振興の方針と事業内容

方針1 どんぐりの里いなぶを拠点とした観光推進

検討事業	内容	主体
植栽活動やまちなか景観整備	地域による四季折々に花を咲かせる植物の植栽活動や花飾りモデル地区の整備、町並み整備等のまちなか景観の整備。	観光協会、地域、行政
まちなか観光施設のPRと磨き上げ	まちなか観光施設(道の駅、大井平公園、名倉川遊歩道、武節城址、古橋懐古館、瑞龍寺の桜、山田無文老師の生家、姫井戸など)のPRと磨き上げや「木製ランプシェード」などの特産品の製作・販売による回遊性のあるまちなか観光の推進。	観光協会、地域、行政
まちなか観光ガイドの養成	まちなか観光の推進と各施設等のPRを図るために、まちなか観光ガイドの養成。	観光協会、地域
まちなかのガイドマップ(回遊ルート)の検討)	歴史・文化散策コースなど、テーマ毎の回遊ルートを設定したまちなかガイドマップの作成。	観光協会、地域、民間、行政
案内板の充実整備	まちなか観光の推進を図るため、案内板の充実整備。	観光協会、地域、行政
まちなか等の遊歩道の整備	まちなか観光を推進するために、まちなか遊歩道や川原散策道などの環境整備。	観光協会、地域、行政
名倉川の吊橋等の整備	まちなか観光を推進するため、名倉川の吊橋等の整備ややな場の設置、流水の水量を増やす働きかけ。	観光協会、地域、民間、行政
まちなか観光イベントの充実	雑祭り、木製ランプシェードを使った中馬のあかりなど、四季を通じたまちなかイベントの充実。	観光協会、民間、地域
道の駅どんぐりの里いなぶ、どんぐり横丁、どんぐりの湯のリニューアル	道の駅どんぐりの里いなぶ、どんぐり横丁、どんぐりの湯を時代のニーズに則したりリニューアル。	行政、民間、観光協会

方針2 地域に根ざしたほんものの体験プログラムの推進

検討事業	内容	主体
体験プログラム推進体制の組織強化と体験プログラムの検討・実施	「稲武山里体験推進協議会」の組織体制の強化と年間を通じた体験プログラムの検討・実施。	観光協会、民間、地域
指導者の養成	山里体験を指導する指導者等の確保・育成。	観光協会、民間、地域

方針3 いなぶへのこだわり、地産地消へのこだわりの推進

検討事業	内容	主体
地域食材を生かした特産品・郷土料理の開発(レシピ募集、試作品の開発及びマ-ケティング調査)	特産品・郷土料理開発研究会を立ち上げ、特産品・郷土料理のアイデアコンテスト等の実施、食材を提供する栽培農家等への支援などにより、山里の匂いを醸し出す特産品開発、郷土料理づくりの推進。	民間、地域
特産品の販売・PR	山里の匂いを醸し出す地区の飲食店・土産物店等の雰囲気づくりの推進と、市内各施設での共同販売やインターネット販売、ファンクラブ会員の設立などによる地域外への特産品の販売促進とPRの強化。	観光協会、民間

方針4 農地・山林・空き家を活用した山里暮らしへの誘い

検討事業	内容	主体
受入体制の検討・組織化と遊休農地を活用した農業体験ツアーの実施	自治区、集落単位に山里暮らしを推進するための受入体制の組織化と、遊休農地を活用した年間プログラムによる農業体験ツアーの実施。	民間、観光協会、地域
遊休農地を活用した体験農園や市民農園の開設	自治区、集落を単位に遊休農地を活用した体験農園や市民農園の開設と、空き家等を活用したクラブハウス等の整備。	観光協会、民間、地域、行政
棚田のオーナー制度等の検討・実施(年間活動メニューの検討・オーナー募集)	地域で取り組む手づくり交流を進めるため、棚田のオーナー制度の検討・実施。	民間、地域、行政
空き家調査及び空き家活用の支援策の検討・実施	旧街道の町並みで、伝統工芸・民芸店・ギャラリー等の開設を支援するために、空き家調査及び空き家活用の支援策の検討。	民間、地域、行政
森づくり(きのこ栽培)オーナー制度の検討・実施(年間活動メニューの検討・オーナー募集)	森づくり交流を進めるため、森づくり(きのこ栽培)のオーナー制度の検討・実施。	民間、地域、行政

方針5 地域の連携による交流人口の拡大

検討事業	内容	主体
観光施設と宿泊施設の共通割引券(クーポン)の発行	どんぐりの湯と宿泊施設の連携による滞在型観光を推進するための共通割引券(クーポン)の発行。	観光協会、民間
体験プログラム等がセットになった宿泊プラン、観光ツアーの開発とPR	体験プログラムを取り入れた宿泊プランや市民農園と宿泊施設の連携による農業体験ツアーの開発とPR。	観光協会、民間、地域
民泊の推進体制の組織化と民泊開設等の支援策の検討	農家等との協力による民泊の推進体制づくりと体験プログラムの整備、及び民泊開設等支援策の検討。	民間、地域、観光協会、行政

方針6 住んでよいまち、訪れたいまちづくりの推進

検討事業	内容	主体
観光交流まちづくりシンポジウムと観光交流講座の開催	観光交流のまちづくり活動への自主的参加、住民同士の連携や情報交換を図るため、観光交流まちづくりシンポジウムと観光交流講座の開催。	観光協会、民間、住民、行政
地域による観光地づくり活動の検討・実施	地域自らが郷土愛を高め、磨き上げながら来訪者を惹きつける魅力ある観光地づくりの活動の検討・実施。	観光協会、民間、地域

方針7 情報受発信の円滑化

検討事業	内容	主体
観光交流情報のポータルサイトの整備	観光情報や都市農村交流情報を一元化した観光交流情報ポータルサイトの整備。	観光協会
リアルタイム情報の収集と提供・PR	観光協会の体制強化を図り、リアルタイムな情報の収集と発信。	観光協会
観光プロモーションの検討・実施	旅行会社、学校、個人などへの情報提供など、社会ニーズにあった観光プロモーションの検討・実施。	観光協会、行政

方針8 観光交流を支えるインフラ整備

検討事業	内容	主体
交通アクセスの整備・充実	国道 153 号伊勢神トンネル・橋梁及び小田木町地内の道路改良整備の推進と豊田市街地までのバスの運行の検討。	行政
トイレ・駐車場の整備	まちなかの駐車場拡充及び城ヶ山山頂付近などにおける観光地の公衆トイレ・駐車場の整備。	観光協会、行政
観光スポットにおける散策道・広場等の環境整備	大井平公園東屋改修、名倉川の吊橋等の整備、まちなか遊歩道等の整備、名倉川及び大野瀬周辺の親水性のある河川環境の整備(観光やなの整備)の推進。	観光協会、民間、地域、行政

6 重点プロジェクト

1. 歩いて楽しいまちなか回遊プロジェクト

(1) 実施主体

地域、観光協会、行政

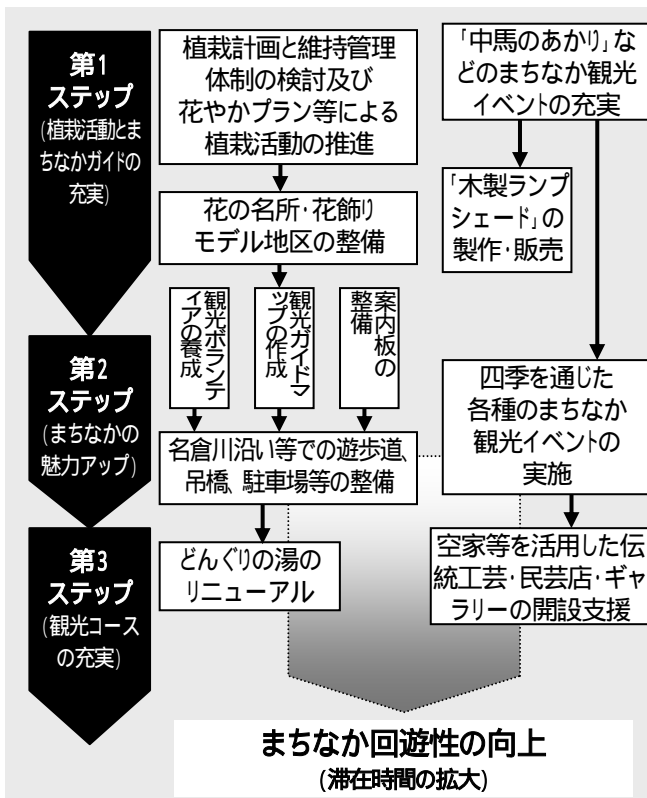
(2) 目的

地域住民が主体となった四季折々の花木による植栽活動とまちなか遊歩道の整備、観光イベントの充実などを進め、観光客が歩いて楽しく回遊でき、滞在時間の拡大につながる事業を展開する。

(3) 事業内容

まちなかの植栽検討及び植栽活動推進による、花の名所・花飾りモデル地区の整備
 名倉川に親水性の高い遊歩道や吊橋、観光やなの整備及びウォーキング大会の実施
 観光ガイドマップの作成、案内看板の設置、観光ガイドサービスの提供
 中馬のあかり等のまちなかイベント充実と「木製ランプシェード」の製作・販売を実施
 どんぐりの湯のリニューアル整備
 まちなか中心の駐車場・町並み整備

(4) 事業の展開シナリオ



2. 四季を通じたほんものの山里体験プログラムの開発プロジェクト

(1) 実施主体

地域、観光協会、民間、行政

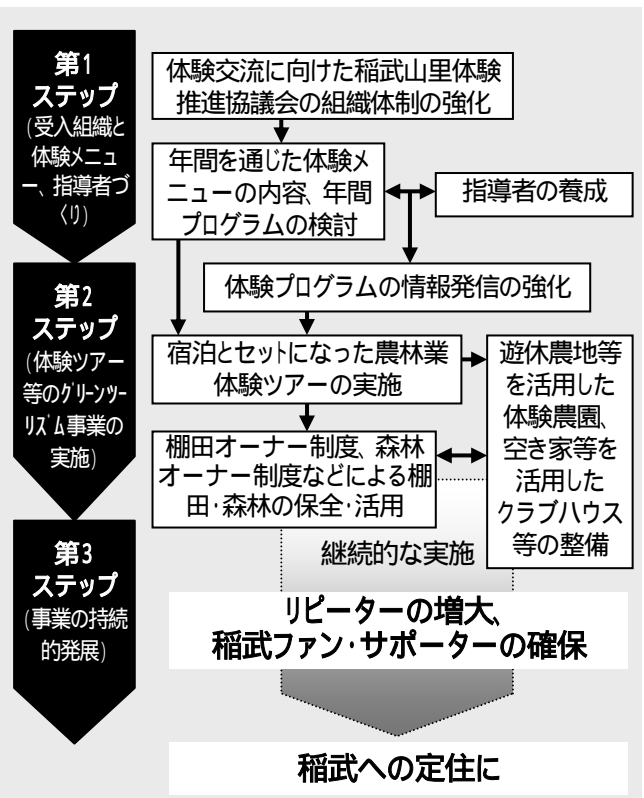
(2) 目的

稲武地区の豊かな自然環境、農地や森林などを生かした体験交流を推進し、ほんものの山里の魅力を体感してもらい、山里のPRを図るとともに、リピーターの増大、稲武ファン・サポーターの確保、さらに子ども連れの家族の定住促進を図る。

(3) 事業内容

稲武山里体験推進協議会等の組織体制の強化(PR強化、体験プログラムのコーディネーターの配置)
 年間を通じた各種の山里体験メニューと料金、年間プログラムの検討
 山里体験指導者の確保・育成
 山里体験プログラムの情報発信
 宿泊とセットになった農林業体験ツアーの実施
 遊休農地等を活用した体験農園や空き家等を活用したクラブハウス等の整備
 棚田オーナー制度、森林オーナー制度等による棚田や森林の保全・活用

(4) 事業の展開シナリオ



3. 地産地消の推進に向けた 特産品の開発・販売プロジェクト

(1) 実施主体

地域、民間

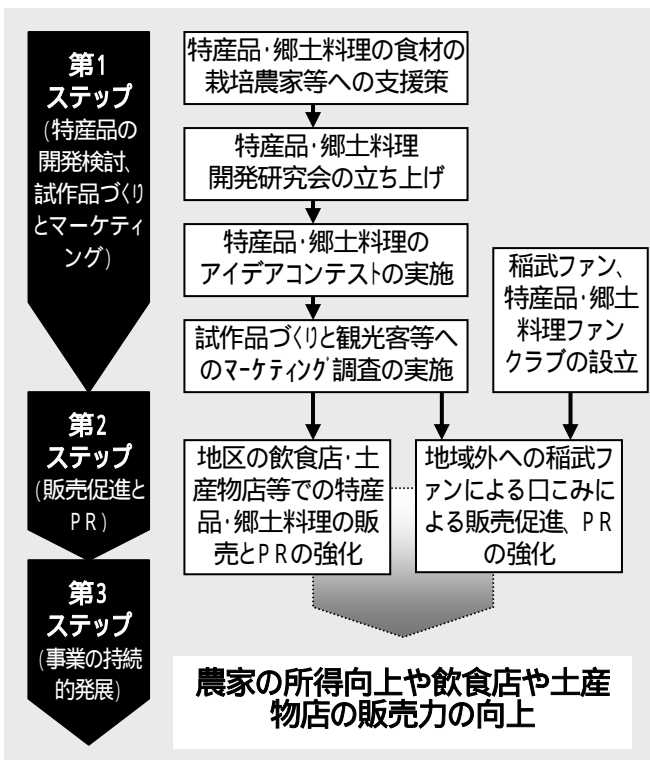
(2) 目的

ミネアサヒや自然薯、ブルーベリー、赤そば、たかきび、エゴマなど、稲武地区にはおいしい野の幸、山の幸が豊富にあり、これらの販売促進を図るとともに、これら地域食材を使った特産品や郷土料理を開発し、農家の所得向上や飲食店・土産物店の販売力向上につなげ、地産地消の推進を図る。

(3) 事業内容

- 特産品・郷土料理の開発研究会の設立
- 特産品・郷土料理アイデアコンテストの実施
- 試作品づくりとマーケティング調査の実施
- 特産品・郷土料理の食材の栽培農家への支援策
- 特産品の販売促進に向けたPR強化と特産品の安定的な販売に向けた会員制のファンクラブの設立

(4) 事業の展開シナリオ



農林水産物直売施設「どんぐり横丁」

図表6-7-4 観光交流推進の方針図

